

ロシア及びグローバルデータによるP波トモグラフィー

P-wave tomography of the Northwest Pacific basing on the joint Russian and international data.

Alexei Gorbatov [1], 大林 政行 [2], 深尾 良夫 [1], Evgenii Gordeev [3]

Alexei Gorbatov [1], Masayuki Obayashi [2], Yoshio Fukao [3], Evgenii Gordeev [4]

[1] 東大・地震研, [2] 気象研, [3] KEMD, Geophysical Service, RAS, Russia

[1] ERI, Univ. Tokyo, [2] MRI, [3] Earthq. Res. Inst., Univ. of Tokyo, [4] KEMD, Geophysical Service, RAS, Russia

ISC, NEIC(1964-1998)に Russian Geophysical Service(RGS)(1955-1997)のデータを組み合わせ北西太平洋を高解像度にしたP波トモグラフィーを行った。RGSのカタログにはISCなどに報告されていないローカルな地震約60000と204の観測点が含まれている。ブロックの水平サイズは1.4ないし 5.6度の範囲で場所に応じてなるべく最適になるように変化させている。得られた結果前回の報告 (Gorbatov et al. 1998) よりシャープなイメージである。

ISC, NEIC (1964-1998) に Russian Geophysical Service (RGS) (1955-1997)のデータを組み合わせ北西太平洋を高解像度にしたP波トモグラフィーを行った。RGS のカタログにはISCなどに報告されていないローカルな地震約60000と204の観測点が含まれている。ブロックの水平サイズは1.4ないし 5.6度の範囲で場所に応じてなるべく最適になるように変化させている。得られた結果前回の報告 (Gorbatov et al. 1998) よりシャープなイメージである。千島 - カムチャッカ沈み込み帯では連続的な高速度域 (HVZ) が深さ500kmまで見られ太平洋スラブに関連していると思われる。HVZは深さ約 900kmまでたどることが出来るが、この深さでの目立った HVZは東西方向に広がっていて現在の沈み込みプロセスとは関連しないものと思われる。アラスカから沈み込んだスラブは深さ 100kmまでであるがそれ以深にはみられない。